令和９年度　島根県教育職員（実習助手）採用候補者選考試験問題

| 受　験　番　号 |
| --- |
| |

工業実習に関する実技　機械

１　課題

旋盤を用いて工作物（丸棒）の外周を切削する。そのための準備を行う。ただし、作業は３で示す作業手順に従って行うこととし、安全のために旋盤の電源は入れない。作業時間は 20 分とする。

２　準備されているもの

（１）材料（工作物）

軟鋼丸棒　（Ｓ４５Ｃ　長さ約１５０mm）

（２）工具、測定具等

片刃バイト、敷金、マイクロメータ、スケール

３　作業手順

（１）丸棒の外径についてマイクロメータを使って１００分の１mmまで測定し、解答用紙に記入する。

（２）旋盤の電源が OFF になっているか確認をする。

（３）片刃バイトを旋盤の刃物台に取り付ける。バイト先端の高さは回転中心とする。

（４）片刃バイトで外丸削りを行うため、刃物台を適切な角度にセットし、固定する。

（５）工作物をチャックに取り付ける。

（６）工作物の端面を心押台のセンタで支える。

（７）旋盤の回転数をセットする。但し、切削速度を約 130m/min とする。

（８）工作物端面および外周とバイト先端が 20mm程度となるまで近づける。

○留意点

（１）旋盤の電源は絶対に入れない。

（２）不明な箇所は係員に確認してから作業する。

○作業終了

（１）余った敷金や使用した工具、測定具等は元の位置にもどす。

（２）作業が終了したことを係員に知らせる。

令和９年度　島根県教育職員（実習助手）採用候補者選考試験問題

| 受　験　番　号 |
| --- |
| |

工業実習に関する実技　機械　解答用紙

①丸棒の外径

| |
| --- |
| 40.00 ㎜程度（実測値による）<br>〔ｍｍ〕 |